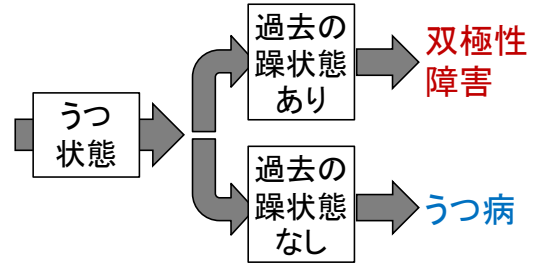


気分障害

精神科
松崎 朝樹

1. 抑うつ状態 → うつ病か双極性障害
2. 過去の躁状態 → 双極性障害
3. 過去に躁状態がない → うつ病(暫定)



抑うつエピソード Major Depressive Episode

1か2を含む5つが2週間

1. 抑うつ気分
2. 興味・喜び↓
3. 体重・食欲 ↓ / ↑
4. 睡眠の ↓ / ↑
5. 精神運動性の焦燥 / 制止
6. 易疲労性 / 気力 ↓
7. 無価値観か罪責感
8. 思考力・集中力 ↓ か決断困難
9. 死の思考や自殺念慮

抑うつエピソード

| | |
|----------|-------------|
| 運動部に | 精神運動制止・焦燥 |
| 在籍する | 無価値感・罪責感 |
| フミちゃんは | 不眠・過眠 |
| 興味ないし | 興味・喜び↓ |
| 疲れるからって | 易疲労感・気力↓ |
| 気持ちで | 抑うつ気分 |
| 痩せようだなんて | 体重・食欲 ↓ / ↑ |
| 考えられない | 思考力・集中力 ↓ |
| デス。 | 自殺念慮 |

うつ病
ざっくり
女は 15% くらい
男の2倍

- 不眠を伴う
入眠困難
中途覚醒
早朝覚醒
- 不安
40%以上が
不安障害を伴う

メランコリア型うつ病

プラスの気分反応性: 無い
異質な抑うつ気分

食欲↓
早朝覚醒
朝の増悪
精神運動制止・焦燥
強い罪責感



非定型うつ病

プラスの気分反応性: ある

過眠

食欲↑

鉛様麻痺

拒絶に過敏



季節性のうつ病

「季節性感情障害」「冬季うつ病」

食欲↑+睡眠↑が多い

光療法

周産期うつ病

妊娠中+出産直後

「産後うつ病」「マタニティーブルー」

精神病性の特徴を伴ううつ病

微小妄想

貧困妄想

財産が無いと確信する妄想

罪業/罪責妄想

重い罪があると思いつむ妄想

否定妄想/虚無妄想

自分の体・命・存在が無い

心気妄想/疾病妄想

健康を害した/重い病気だ

仮面うつ病

抑うつ気分を訴えず、主訴が身体症状

仮性認知症

高齢者がうつ病で認知機能が低下し、認知症状態に陥る

気分変調症

≒持続性抑うつ障害
2年以上の抑うつ状態

なぜうつ病になるの？

- **下垂体—副腎皮質系**: HPA系亢進でコルチゾル過剰が持続
- **モノアミン神経系**の機能不全
- **BDNF** (脳由来神経栄養因子) が減少して海馬が萎縮

薬や身体疾患による抑うつ状態

| | |
|-------------|--|
| 内分泌 | 甲状腺機能低下や亢進、Cushing症候群、副甲状腺機能亢進、アジソン病、無月経・乳汁分泌症候群など |
| 脳器質 | アルツハイマー病、脳血管障害、パーキンソン病、脳腫瘍、多発性硬化症、脳外傷、てんかんなど |
| その他 | 糖尿病、癌、血液透析、高血圧、心筋梗塞、SLE、腎移植、AIDS、インフルエンザなど |
| ホルモン、生理活性物質 | 副腎皮質ステロイド、インターフェロン、黄体ホルモン |
| 消炎鎮痛薬 | アスピリン、インドメタシン、イブプロフェン、スリンダク、ベンタジシン |
| 循環器作用薬 | β遮断薬、α遮断薬、α-メチルドパ、ヒドラジン、レセルピン、 |
| その他 | 消化性潰瘍治療薬、抗結核薬、真菌治療薬、抗がん剤、抗ウイルス薬、HIVプロテアーゼ阻害薬、嫌酒薬 |

三環系抗うつ薬 (古)

四環系抗うつ薬

SSRI
選択的セロトニン再取り込み阻害薬

SNRI
セロトニン・ノルアドレナリン再取り込み阻害薬

NaSSA
ノルアドレナリン作動性・特異的セロトニン作動性抗うつ薬 (新)

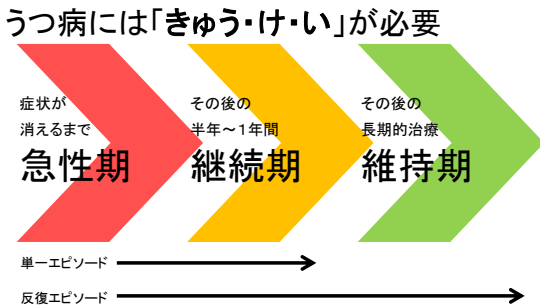
抗コリン作用
口渇、便秘
かすみ目、心毒性
認知機能低下

クラミジン、クロミプラミンなど
マプロチリン、マプロチリンなど
セルトラリン、ベンフラミンなど

抗うつ薬は徐々に増やす
十分量・十分期間続ける
止めるときは漸減

消化器症状が最初に出やすい

急な中止で反跳性の増悪



電気けいれん療法: ECT

前頭部に数秒間、**通電**して、脳内でてんかんのけいれん発作と同様の発作を起こす。
絶対禁忌: なし (相対禁忌: 脳内占拠病変)

適応の疾患: うつ病、双極性障害、統合失調症 などの内因性疾患

適応の状態: 1) 薬物**抵抗性**
2) **切迫性**

電気けいれん療法: ECT

副作用: 逆行性健忘、記憶力低下、頭痛、せん妄

リスク: 心停止、歯の異常、骨折

電気けいれん療法 m-ECT

麻酔下でのECT

眠らせる+筋弛緩を得る

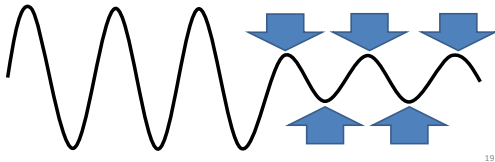
躁病エピソード
高揚気分や開放的な気分、易怒性に加えて.....

古代の **自尊心肥大・誇大**
サンマを **注意散漫**
食べんと多弁
熱中して **快楽的行動に熱中**
ジタバタしたけど **目的志向性活動増加**
スミシングが嫌で **精神運動性の焦燥**
観念 **観念奔逸**

睡眠欲求減少

気分安定薬

= 躁うつ病の治療薬
躁・うつ両方の治療+予防



脳波異常が生じてんかんに禁忌

- 炭酸リチウム
- バルプロ酸
- 腎機能障害のリスク。腎障害に禁忌
- 中毒で、下痢、嘔吐、振戦、意識障害

気分安定薬4つ

安定したらリッチにバカラ

- 炭酸リチウム
- バルプロ酸
- カルバマゼピン
- ラモトリギン

採血ばかりで、皮膚はカラカラ
血中濃度の確認が必要な3剤は？
皮膚障害のリスクがある2剤は？

高アンモニア血症と肝障害に注意

- バルプロ酸
- カルバマゼピン
- ラモトリギン

カルバマゼピンは肝酵素(CYP)を強力に誘導し、他の薬剤の血中濃度を下げる。

抑うつの評価

医師による評価尺度

- ハミルトンうつ病評価尺度 (HAM-DまたはHRS)
- モントゴメリー・アスペルグうつ病評価尺度 (MADRS マドラス)
- 自記式の評価尺度
- ベック抑うつ尺度 (BDI-II)
- ツング抑うつ尺度 (SDS)
- QIDSクイズ
- PHQ-9

躁の評価・ヤング躁病評価尺度 (YMRS)

うつ病患者の対応

うつ状態の患者さんに

- 共感的に対応
- 「頑張り」と言わない
- 重大な決断は先送り
- 希死念慮の有無を確認し、自殺しないよう約束。